

テーマ研究 「日本をより良くするための提案」(普通科文系/理系)

目的 日本をよりよくするための方策を文学・芸術・政治・経済・社会・情報(IT)・メディア・科学・医学(医療)・農業・工業・環境・食文化・国際化・その他の分野に分かれ、4人グループでディスカッションや調査等を通して、そのひとつを提案し、発表する。

●本活動上の注意

目的：できる限り大きなテーマを取り上げてみよう。実現可能，不可能は問いません。日本をより良くするために，壮大な改革を考え，とにかく明るく前向きな活動として行う。

分野：文学・芸術・政治・経済・社会・情報(IT)・メディア・科学・医学(医療)・農業・工業・環境・食文化・国際化・その他を含めた，計15分野とする。

活動・基本は4人1グループ。

- ・グループの中で，何が問題か討論し，出てきた案から解決すべき問題テーマを1つ選ぶ。
- ・問題解決のための道筋を立て，役割分担をして，その問題を皆で解決する。
- ・模造紙でポスターを作成し，発表する。
- ・ポスター構成は，「提案・提案理由・(実施・解決)方法・根拠・実現の見通し・まとめ感想」
- ・発表は白堊研究Ⅰ探究活動の発表形式と同じとする。
- ・発表の自己評価および他者評価は「探究活動」にならう。

●今後の「白堊研究Ⅰ(普通科)」予定 <場所：3～6組教室，PC室，選択B，図書室>

回	月	日	授業内容(普通科 文系/理系)
1	12	5	テーマ研究 テーマの設定 (本時)
2	12	12	調べ学習①
3	1	9	調べ学習②
4	1	16	ポスター作成①
5	1	23	ポスター作成②
6	1	30	発表
7	2	6	ふりかえり

- ・ 12/5 (1時間目) テーマ設定
 - 日本での問題点をグループで討論し，解決案を作成する問題点を決定する。
 - 活動の計画を立てる
 - 役割分担を決める
- ・ 12/12 (2時間目) 調べ学習①
- ・ 1/9 (3時間目) 調べ学習②
 - 各自で調べてきた内容についてディスカッションし，提案の素案を決める。
 - 提案を支持する内容や事例について調査，討論する。
 - ポスターに書く内容の下書き作成。
- ・ 1/16 (4時間目) ポスター作成①
- ・ 1/23 (5時間目) ポスター作成②
 - 模造紙でポスターを作成。
 - 発表での役割分担の決定。(必ず全員がプレゼンテーションを行う)
 - 発表練習を行う。
- ・ 1/30 (6時間目) 発表(約40班)
 - 各教室の8班をA・B(各4班ずつ)に分ける。(使用教室は3～6組・選B)
 - 前半20分 A：発表 B：見学 後半20分 A：見学 B：発表
 - 自己評価，他発表者の評価を行う。
- ・ 2/6 (7時間目) ふりかえり
 - 前回の評価票を集計する。
 - 集計結果から良かった点，改善点等を話し合う。(テーマ設定，調べ学習，ポスター作成，発表など)
 - テーマ研究を通して学んだことをまとめる。

氏名 及び グループメンバー

氏名 組 番	グループメンバー 組 番
グループメンバー 組 番	グループメンバー 組 番

リーダー順番(全7回) 1 _____ → 2 _____ → 3 _____ → 4 _____ → 5 _____ → 6 _____ → 7 _____
分野

本時の活動内容 日本での問題点をグループで討論し、解決案を作成する上での問題点を決定する
 活動の計画を立てる 役割分担を決める

① 上記分野における現在の日本で問題点 の候補(必ず他者の内容もメモすること)

② 上記の中から選んだ今回の問題点

③ ②の問題点が起きている原因について考えよう

④ ③で挙げた数々の原因を、各メンバーに割り当て、各自で責任をもって調べよう。

③で原因が不明な場合は、その理由を調査してみよう

氏名	
グループメンバー	
グループメンバー	
グループメンバー	

(調査上の注意)・必ず出典(何に掲載されていたのか)をメモしてくること

- ・本でなくインターネット上の場合も、ホームページ名とアドレスをメモしておくこと
- ・この調査内容の信用度がとても大事です

⑤ 現段階での解決案のアイデアを出してみよう。(しつこいですが正解不正解はないですよ!)

--

(5分前)

⑥ 次回までの活動内容確認

④の内容を調べてくる

⑦ 次回の活動内容確認

各自で調べてきた内容についてディスカッションし、提案の素案を決める。

提案を支持する内容や事例について調査、討論する

次回は解決案を討論し決定していきます。

解決策の提案に大事なことは、理にかなっているか、つまり、根拠がしっかりしているかです。

